

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公開番号】特開 2004-217566 (P2004-217566A)

【公開日】平成 16 年 8 月 5 日 (2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報 2004-030

【出願番号】特願 2003-6667 (P2003-6667)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 31/19 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 31/19

A 6 1 P 25/08

A 6 1 K 9/22

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 26 日 (2005.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】ヒドロキシプロピルメチルセルロースを含有する製剤において、2 重量 % 水溶液の粘度が、20 において、10 ~ 10000 cps であるヒドロキシプロピルメチルセルロースを選択し、ヒドロキシプロポキシ基含量が 53.4 ~ 77.5 % であり、2 重量 % 水溶液の粘度が、20 において、6 ~ 5000 cps であるヒドロキシプロピルセルロースを該ヒドロキシプロピルメチルセルロースに、ヒドロキシプロピルメチルセルロースとヒドロキシプロピルセルロースの比が 1 : 1.2 ~ 1 : 5 (重量比) で混合して製剤に含有させることを特徴とする該製剤のゲル強度の増強方法。

【請求項 2】ヒドロキシプロピルメチルセルロースの含有量が、製剤全体に対して 5 ~ 45 重量 % である請求項 1 記載の製剤のゲル強度の増強方法。

【請求項 3】ヒドロキシプロピルメチルセルロースが、日局ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2208 (メトキシ基含量 19 ~ 24 %、ヒドロキシプロポキシ基含量 4 ~ 12 %)、日局ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2906 (メトキシ基含量 27 ~ 30 %、ヒドロキシプロポキシ基含量 4 ~ 7.5 %) または日局ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910 (メトキシ基含量 28 ~ 30 %、ヒドロキシプロポキシ基含量 7 ~ 12 %) である請求項 1 記載の製剤のゲル強度の増強方法。

【請求項 4】ヒドロキシプロピルセルロースとヒドロキシプロピルメチルセルロースを合わせた含有量が、製剤全体に対して 10 ~ 50 重量 % である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の製剤のゲル強度の増強方法。

【請求項 5】製剤が活性成分を含有する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の製剤のゲル強度の増強方法。

【請求項 6】活性成分がバルプロ酸もしくはバルプロ酸誘導体またはそれらの塩である請求項 5 記載の製剤のゲル強度の増強方法。

【請求項 7】バルプロ酸もしくはバルプロ酸誘導体またはそれらの塩が、二バルプロ

酸水素ナトリウムである請求項 6 記載の製剤のゲル強度の増強方法。

【請求項 8】製剤が徐放製剤である請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の製剤のゲル強度の増強方法。

【請求項 9】2 重量 % 水溶液の粘度が、20 において、10 ~ 10000 cps であるヒドロキシプロピルメチルセルロース、ヒドロキシプロポキシ基含量が 53.4 ~ 77.5 % であり、2 重量 % 水溶液の粘度が、20 において、6 ~ 5000 cps であるヒドロキシプロピルセルロースおよび活性成分を含有し、ヒドロキシプロピルメチルセルロースとヒドロキシプロピルセルロースの比が 1 : 1.2 ~ 1 : 5 (重量比) である徐放性製剤。

【請求項 10】ヒドロキシプロピルメチルセルロースの含有量が、製剤全体に対して 5 ~ 45 重量 % である請求項 9 記載の徐放性製剤。

【請求項 11】ヒドロキシプロピルメチルセルロースが、日局ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2208 (メトキシ基含量 19 ~ 24 %、ヒドロキシプロポキシ基含量 4 ~ 12 %)、日局ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2906 (メトキシ基含量 27 ~ 30 %、ヒドロキシプロポキシ基含量 4 ~ 7.5 %) または日局ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910 (メトキシ基含量 28 ~ 30 %、ヒドロキシプロポキシ基含量 7 ~ 12 %) である請求項 9 または 10 記載の徐放性製剤。

【請求項 12】ヒドロキシプロピルセルロースとヒドロキシプロピルメチルセルロースを合わせた含有量が、製剤全体に対して 10 ~ 50 重量 % である請求項 9 ~ 11 のいずれかに記載の徐放性製剤。

【請求項 13】徐放性製剤が、直接打錠により得られる錠剤の形態である請求項 9 ~ 12 のいずれかに記載の徐放性製剤。

【請求項 14】徐放性製剤が単層状の徐放性製剤である請求項 9 ~ 13 のいずれかに記載の徐放性製剤。

【請求項 15】活性成分がバルプロ酸もしくはバルプロ酸誘導体またはそれらの塩である請求項 9 ~ 14 のいずれかに記載の徐放性製剤。

【請求項 16】バルプロ酸もしくはバルプロ酸誘導体またはそれらの塩が、二バルプロ酸水素ナトリウムである請求項 15 記載の徐放性製剤。